

138
2026

山口県 土地改良だより

発行：山口県土地改良事業団体連合会 会長 北村経夫 山口市糸米二丁目13番35号 TEL 083(933)0033 FAX 083(933)0048



「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2025」

水土里ネット山口 会長賞

長門市立浅田小学校 3年 高野 幸

作品名：カネタタキ～五穀豊穣を祈る腰輪踊り～

～ 目次 ～

◇新年挨拶	1
◇国への要望活動	5
◇県への要望活動	6
◇「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2025」入賞作品の紹介	7
◇トピック	8
◇研修会	10
◇行事から	14
◇県からのお知らせ	15
◇農家負担金軽減支援対策事業のご案内	16
◇男女共同参画について	17
◇水土里ネット山口の概要	19



新年のご挨拶

参議院議員
山口県土地改良事業団体連合会
会長 北村 経夫

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を、会員はじめ関係の皆様方とともに迎えることができましたこと大変喜ばしく思います。また、平素より本会の運営ならびに農業農村整備事業の推進に対しまして、格別のご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博の開催や、米価高騰を受けた史上初の政府備蓄米の放出、そして高市内閣の発足など、まさに激動の1年だったと言えるでしょう。

こうしたなか、令和7年4月に改正された土地改良法において、土地改良区や市町村等の関係者が共同し、農業水利施設等の適切な将来の保全体制の構築を目的として、連携管理保全計画（通称 水土里ビジョン）が位置付けられたところです。

当会といたしましては、土地改良区の財政状況や管理施設の適切な確認及び状況の把握等を通じて、経営収支の健全化や組織体制の強化に繋げられるよう指導を行っております。今後も引き続き関係各所と連携を取りながら進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

また、令和7年4月には、昨年度改正された食料・農業・農村基本法に基づく、新たな食料・農業・農村基本計画が策定されました。総合的かつ計画的に講すべき施策として、「我が国の食料供給」、「輸出の促進」、「国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム」、「環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の發揮」、「農村の振興」などが掲げられています。

更に、土地改良法の改正や基本計画の策定などを踏まえて新たな土地改良長期計画が策定されました。令和7年から11年の初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進め、「生産性向上等に向けた生産基盤の強化」、「農業用水の安定供給及び良好な排水条件の確保」、「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靭化」、「農村の価値や魅力の創出」といった4つの政策課題に取り組むこととしています。

そして、令和8年度土地改良関係当初予算の政府予算案は4,504億円、令和7年度補正予算を含めると6,942億円を確保することができました。関係皆様方の精力的な活動に厚くお礼申し上げるとともに、この予算を有効に活用していくこそが我々連合会の使命であり、そのためには日々邁進する所存です。

結びに、本年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」にあたります。丙午の太陽の様な明るさに満ちた輝かしい一年となりますよう、また、皆様方の今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



知事年頭あいさつ

山口県知事 村 岡 嗣 政

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が山口県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様方にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、皆様方には、平素から本県農業・農村の振興・発展に多大なる御尽力を賜っており、心から感謝を申し上げ、深く敬意を表する次第です。

さて、農業・農村は、食料の安定供給を支えるとともに、自然環境の保全や土砂災害防止などの多面的な機能を有しており、県民の安心・安全で豊かな暮らしを支える重要な役割を担っています。

一方で、少子高齢化の進行等に伴う担い手の減少、燃油や資材価格の高騰による生産コストの増大、気候変動による異常気象の頻発化など、農業を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しています。

こうした課題に的確に対応していくため、県では、生産性と持続性を両立した強い農業の育成に向け、担い手の確保・育成、需要拡大、生産体制の確立、農業農村整備を四つの柱として、各種施策を進めてきたところです。

今年は、本県の更なる発展と飛躍に向け、これまで県民の皆様と共に積み重ねてきた成果を基盤に、施策を一層前に進めるとともに、県づくりの取組を確かな成果へと結びつけ、山口県をより高いステージへと押し上げていく、こうした未来への挑戦を果敢に進めていきたいと考えています。

とりわけ、農業振興に向けたあらゆる取組の基礎となる農業農村整備については、担い手への農地集積・集約化や徹底した効率化・省力化による生産性の向上を図るために、スマート農機等に対応した農地の大区画化や品質・収量の安定につながる水田の高機能化などの基盤整備を加速します。

また、農村地域の暮らしの安心・安全を確保するため、気候変動に伴う集中豪雨や、高い確率での発生が懸念されている南海トラフ地震等の大規模災害に備え、市町や関係機関と緊密に連携し、ため池などの整備等による国土強靭化をより一層推進し、県民の生活と暮らしを守り抜きます。

県としましては、農業・農村の振興・発展を推進する取組を力強く進め、県民の皆様が豊かさと幸せを実感できる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますが、こうした取組を進めていくためには、貴会の役割が大変重要と考えていますので、皆様方の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支「午」は躍動や前進を象徴するとされています。山口県土地改良事業団体連合会が力強く飛躍されるとともに、会員並びに関係の皆様方の御健勝、御活躍を心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。



新年挨拶

全国土地改良事業団体連合会
会長 二階俊博

令和8年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業農村整備事業の推進に対し、関係各位の格別の御理解と御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で記録的な猛暑や集中豪雨など、気候変動の影響が一段と顕著となり、皆様の地域にも大きな影響を及ぼしたのではないかと存じます。

豪雨等により被害を受けられた地域の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

いま、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や世界的な物価高騰などの諸問題に直面しています。一方、我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保全管理が困難になるなどの課題を抱えるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの様々な問題の解決のために、食料・農業・農村基本法や土地改良法の改正が行われ、そして、新たに策定された土地改良長期計画に基づき、令和7年度から11年度までの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとなりました。

競争力のある農業を支える「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また、「中山間地域におけるきめ細かな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。

本年の干支は「午」ですが、“前進”“飛躍”的な年とされています。まさに地域農業が新たな局面へ踏み出す一年となりますことを願うところであります。

令和8年度農業農村整備事業関係予算政府原案においては農業構造改革を集中的に進めるため、4,504億円が計上され、令和7年度補正予算を加えると6,942億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかにお過ごしになられますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



新年にあたって

財務大臣 政務官
全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子

あけましておめでとうございます。山口県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、昨年は、農政、国土強靭化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靭化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靭化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に關し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には第一次国土強靭化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目指しました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靭化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間では別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円（昨年比442億円増）となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力を願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。

国に令和8年度予算編成に向けた要望書を提出

11月26日（水）から28日（金）にかけて、山口県農業農村整備事業推進協議会と連名で令和8年度予算編成に向け、当初予算の確保等にかかる要請を政府関係者、農林水産省及び財務省に行いました。

特に、次の事項について格段の配慮を要請しました。

【格段の配慮を願う事項】

- ◎地域の要望を踏まえ、食料・農業・農村基本計画の実現に向けて、着実な事業実施のための当初予算など、別枠での必要・十分な予算の確保
- ◎担い手の農業経営の確立に向け、スマート農業に対応可能な農地整備
- ◎老朽化が進む農業水利施設の計画的な更新
- ◎農業・農村の防災・減災、国土強靭化
- ◎日本型直接支払制度
- ◎土地改良区の運営基盤強化対策

令和7年11月

山口県土地改良事業団体連合会
会長 北村 経夫

山口県農業農村整備事業推進協議会
会長 北村 経夫

令和7年度の十分な予算編成へのお礼とともに、令和8年度予算については当初予算の十分な確保と農業構造5か年対策が打ち出されたことから、次期対策への期待を強く訴えました。



山下雄平農林水産副大臣に要望



中谷真一財務副大臣に要望



鈴木憲和農林水産大臣に要望



青山健治農村振興局次長に要望



小林鷹之自民党政務調査会長に要望

村岡県知事に令和8年度予算編成に向けた要望書を提出

令和7年11月14日（金）県庁知事応接室において、村岡知事に対して令和8年度県予算・施策について、要望を行いました。

北村会長、守田副会長、國本理事、藏重専務理事による熱のこもった要望活動を行いました。

要望書

要旨

県においては、県政推進の指針となる『やまぐち未来維新プラン』に基づき、その部門計画である『やまぐち農林水産業振興計画』により、各種の施策・事業を展開されています。

農業農村整備事業は、農地の大区画化や水田高機能化を進め、担い手への農地集積・集約化を加速するなど「食料安全保障」の推進に不可欠な事業であり、産地の維持・拡大に向けては、先端技術を活用したスマート農業を対応可能とする基盤整備が重要であり、地元からの要望も多く寄せられているところです。加えて、老朽化した農業水利施設の防災・減災対策や長寿命化対策に取り組み、更に、農村協働力を維持発展し地域資源の保全管理体制を強化するなど、生産性と持続性を両立した強い農業の実現に必要な事業です。

こうした中、国は、令和8年度農業農村整備事業関係予算5,281億円（対前年度比118.3%）を概算要求しています。地域の要望に応えられるよう必要な予算を安定的に確保しなければならないと強く望んでいます。

つきましては、令和8年度の農業農村整備事業予算編成にあたり、下記事項について特段の配慮をお願いいたします。

【特に要望のある個別事項】

- 1 担い手への農地の集積・集約化や麦・大豆等の土地利用作物の拡大、さらに高収益作物への転換を図るため、スマート農業技術の活用を可能とする農地の大区画化、地下水位制御システムを含めた水田高機能化の推進（継続）
- 2 農業用ため池をはじめとする老朽化した農業水利施設の保全整備や防災・減災対策の推進（継続）
- 3 農業・農村の有する多面的機能の維持・發揮を図るため、日本型直接支払制度の推進（継続）
- 4 国営緊急農地再編事業南周防地区の着実な推進（継続）
- 5 土地改良区の運営基盤強化対策の推進（新規）



「未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2025」 入賞作品の紹介

おめでとうございます!!

今回で26回目の開催となった「子ども絵画展」は、子どもたちに田んぼや畠、水、農業・農村や自らの環境などに関心を持ってもらい、この財産を次世代へと引き継いでいくことを目的としています。

本年は全国から約2,600点の応募があり、山口県からは1点入賞。受賞作品は12月4日から12月11日まで東京都美術館で展示されました。

水土里ネット山口 会長賞



作品名
カネタタキ～五穀豊穣を祈る腰輪踊り～
長門市立浅田小学校 3年 高野 幸



第47回全国土地改良大会 佐賀大会が開催されました【10月15日（水）】

全国土地改良大会が佐賀県にて開催されました。『水を利用して 土を活かす さがで語ろう 郷里の未来』をテーマとして、全国の土地改良関係者約4,500人が全国から一堂に会し、将来に向かって守っていくために必要な土地改良の大切さを共有、発信しました。

土地改良事業功績者表彰が行われ、山口県からは岩国市向峠土地改良区の安村勝利理事長が「全国土地改良事業団体連合会会長賞」を受賞されました。



SAGAアリーナ（佐賀県佐賀市）



全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された安村勝利氏

おめでとうございます！

土地改良事業功績者表彰
全国土地改良事業団体連合会会長表彰

氏は、平成2年4月に監事、平成15年4月から理事に就任され、平成31年4月からは理事長として本地域の念願であった基盤整備の早期完成に尽力され、「農事組合法人むかたお」の設立並びに健全な運営に心血を注いでこられました。また、核となる取水源がない本地区の農業用水のため、水路5,900m及び頭首工の整備などを成し遂げられました。

更には、地域コミュニティが深化する農村づくりに向けて、無形民俗文化財「向峠神楽」の伝承にも熱心に取り組まれています。

そして、令和2年3月からは山口県土連の理事としても農業農村の振興のために農業農村整備事業の推進に真摯に取り組んでこられました。

のんた2025年vol.26にて、『やまぐちの「農の偉業」探訪⑨～岩国市錦町向峠「山際を走る水路が村を育む 向峠神楽の弾ける夜に」』と題して、安村勝利氏が理事長を務める向峠土地改良区が位置する岩国市錦町向峠の探訪を行っています。ぜひご一読ください。



全土連副会長も務める当会会長の北村経夫が、開催県である佐賀県から次期開催県の奈良県への大会旗の引継ぎを行いました。



佐賀県土連から全土連へ



大会旗を振る北村会長



全土連から奈良県土連へ

農業農村整備の集いが開催されました【11月26日（水）】

全国土地改良事業団体連合会主催の農業農村整備の集いが東京で開催されました。

『水土里ネットは、改正土地改良法の趣旨を十分に理解し、技術、経験など持てる能力を最大限に発揮すべく、男女共同参画を推進しつつ、引き続きその体制強化を図り、農業・農村を支える役割の中心的な存在となることを決意し、取り組んでいく。』と要請書でうたい、「闘う土地改良」のスローガンの下、全国の水土里ネットが一致団結し実現を図っていくことを確認しました。

『土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算をしっかりと確保すること。』等、8項目の実現を図る国への要請文を採択し、ガンバロウ三唱でしめくくりました。



シェーンバッハ・サボー（東京都千代田区平河町）

令和7年度 農村振興技術連盟大賞 受賞 おめでとうございます！

当会の専務理事である藏重裕夫氏が、全国農村振興技術連盟による「農村振興技術連盟大賞表彰選考委員会」により、栄えある令和7年度農村振興技術連盟大賞を受賞しました。

この賞は、長年にわたり農村振興に係る技術力の向上や連盟活動に顕著な功績があった個人や団体を表彰するものです。今回、全国の地方協議会会長からの推薦の中から11名の方々が選ばれました。



令和7年度 農村振興技術連盟大賞表彰式



受賞された藏重専務理事



祝賀会

研修会

令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修【10月28日（火）】

全国土地改良事業団体連合会主催の研修を全土連支援部の飯田博隆部長と勝海匠主事を講師に迎え、県土連ビル5階大会議室にて開催しました。

60名近い参加者のもと、今年度から始まった土地改良区の経営診断及び水土里ビジョンの策定等について、理解を深める研修が行われました。



勝海匠主事



飯田博隆部長

研修内容

- ・ 土地改良区の会計経理について
- ・ 土地改良区の現状と課題について
- ・ 経営診断（収支分析、施設更新積立）について
- ・ 地域関係者との連携について（水土里ビジョン）



県土連ビル5階大会議室

令和7年度換地委員等実務研修会【11月20日（木）、21日（金）】

山口県換地センター（当会内設置）主催で毎年実施している研修会です。それぞれの地区において換地事務がスムーズに進行することを目的に、換地事務に携わる方々を対象として、各分野の専門家を招いて2日間にわたり研修を行いました。



山口県セミナーパーク 102号室

月 日	時 間	科 目	講 師
11月20日（木）	10:00～10:45	・換地委員の役割について	山口県農林水産部 農村整備課 改良区指導班 主査 三戸 幸治
	10:45～12:00	・農地中間管理事業について	やまぐち農林振興公社 農地中間管理事業部 主任 森田 佐知子
	13:00～16:00	・換地理論 ・交換分合の概要	中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 行政専門員 溝口 祐子
11月21日（金）	10:00～12:00	・相続について ・相続登記義務化等について ・職権による住所等変更登記	山口地方法務局不動産登記部門 首席登記官 渡邊 徹志郎 (不動産登記担当)
	13:00～16:00	・換地設計基準の作成 ・土地評価基準の作成 ・従前地の土地評価 ・換地計画原案について ・換地清算について	山口県土地改良事業団体連合会 事業部用地換地課 主査 野村 のぞみ 技師 佐土原 陸 技師 藤田 拓海

土地改良専門技術者による若年実務研修会【11月28日（金）】

若年職員を対象とした実務研修会を、県と当会合同で開催しました。講師は土地改良専門技術者の方々が担当し、参加者は5つのテーマから希望する研修を選択しました。県からは24名、県土連からは16名が参加しました。

各研修テーマ

1. 業務成果品チェック

- ①座 学：ほ場整備の業務成果品チェック
- ②座 学：ため池整備の業務成果品チェック



2. ため池の基礎

- ①座 学：ため池の設計の流れ
- ②現地調査：山口市嘉川 船木堤ため池



3. 土地改良事業の流れ

- ①座 学：ほ場整備事業の流れ
- ②現地調査：山口市陶地区
- ③実習評価：構想図作成、評価



4. ほ場整備の基礎

- ①座 学：ほ場整備の基礎
- ②現地調査：銚子地区現地調査



5. 監督・説明・交渉

- ①座 学：監督ポイント、質疑応答
- ②座 学：説明の仕方、交渉の留意点



山口大学農学部NN研修会【9月25日（木）】

山口大学農学部の2年生と3年生を対象とした特別講義の一環で当会の事業内容を取り上げていただきました。

今年度も多くの学生に参加していただきました。本年も、秋穂土地改良区協力のもと、ため池・ポンプ施設・集排汚水処理施設の見学などを実施しました。座学では、山口大学農学部OBの当会職員も講師を担当するなど、体験を交えた有意義な研修会を実施することができました。



秋穂土地改良区での座学



ため池の見学



集排汚水処理施設の見学

山口大学農学部出前授業【12月19日（金）】

山口大学農学部にて、希望する学生を対象に出前授業を行いました。

カリキュラムは下記のとおりです。

■座学

1. ほ場整備の説明
2. 排水路断面決定の説明
3. 災害復旧の説明



座学

■実技

4. 水準測量の説明→排水路の縦断測量
5. ドローンの説明→空撮
6. 被害調査アプリの説明→被害額算定



水準測量

■座学

7. 排水路縦断勾配の算定
8. 排水路断面の水理計算



ドローンによる大学構内の空撮（学生撮影）



被害調査



ドローン説明

もう少し詳しい内容を当会HPに掲載しています。下記QRコードから是非ご覧下さい。



水土里ネット山口では、採用活動の一環としてインターンシップなどの各種プログラムを実施しています。



座学の様子



ほ場整備の現場

測量体験



水準測量



ポール横断



ドローン体験



ため池整備事業の現場見学



● 行事から

都道府県土連・会員土地改良区 事務責任者会議【9月16日（火）】オンライン開催

全土連の会員（47都道府県土連および27土地改良区）の事務責任者を対象に、農林水産省農村振興局の各課担当から令和8年度予算や新規制度、制度拡充等について説明がされました。

令和7年度 換地関係異議紛争処理実務研修会（中国四国ブロック） 【9月25日（木）、9月26日（金）】ホテルアイスル松山（松山市）

9月25日から9月26日の2日間にわたって、中国四国管内の県と県土連担当者など48名出席のもと開催されました。

島根県土連、香川県土連から、換地関係異議紛争処理事例について発表がありました。古く精度の悪い地籍図への対処や、相続放棄した現地確認不能地での換地処分登記などに関する事案でした。

やまぐち水土里ネット女性の会 第2回運営委員会【10月27日（月）】

下記事項について協議しました。

1. 観察研修について
2. その他



斎藤会長

令和7年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会【11月13日（木）～14日（金）】

今年度の担当県である当会では、中国四国管内の県土連担当者28名出席のもと山口市で開催しました。

山口県の最近の取組として、デジタル活用等について情報提供した後、下記事例について検討を行いました。

- ・ため池改修及び廃止について
- ・ほ場整備について
- ・自由意見について
- ・各県土連の課題や取組等

令和7年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会【11月19日（水）】

今年度の当番県である高知県にて、中国四国管内の県土連担当者19名出席のもと対面で開催されました。

質問県に更なる質問があるかを軸に進められました。

協議事項は、優先事項4点、組織・運営全般7点、人事・労務17点、給与・財務・庶務全般13点、個別分野・その他9点など計50項目に分けて情報交換を行いました。



高知会館（高知県高知市）

山口県土地改良区職員連絡協議会 令和7年度総会・研修会【12月18日（木）】

山口県土地改良区職員連絡協議会の総会と研修会が開催されました。
議事は下記のとおりで、いずれも原案のとおり承認されました。

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について
第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算について



県土連ビル5階大会議室



松尾会長

議事終了後、当会の長嶺参事から「近年における土地改良法改正の主な概要」について説明を行いました。

次に、第一生命保険株式会社による「体験学習 ライフサイクルゲーム」が行われました。ライフサイクルゲームとは、すごく形式のゲームを楽しみながら人生を疑似体験することができる消費者教育・金融保険教育教材です。他にも、握力測定とストレスチェックの体験会が行われました。

その後、山口県警察本部生活安全企画課の原誓志氏から「うそ電話詐欺等の被害に合わないために」と題してお話をいただきました。

最後に、全国水土里ネット常務理事の市村和寿氏から「土地改良区の事務に関する課題と対応」に関してご講演いただきました。



握力測定、ストレスチェック体験会



水土里ネット山口
長嶺参事



山口県警察本部生活安全企画課
犯罪被害防止アドバイザー
原 誓志 氏



ライフサイクルゲームの様子

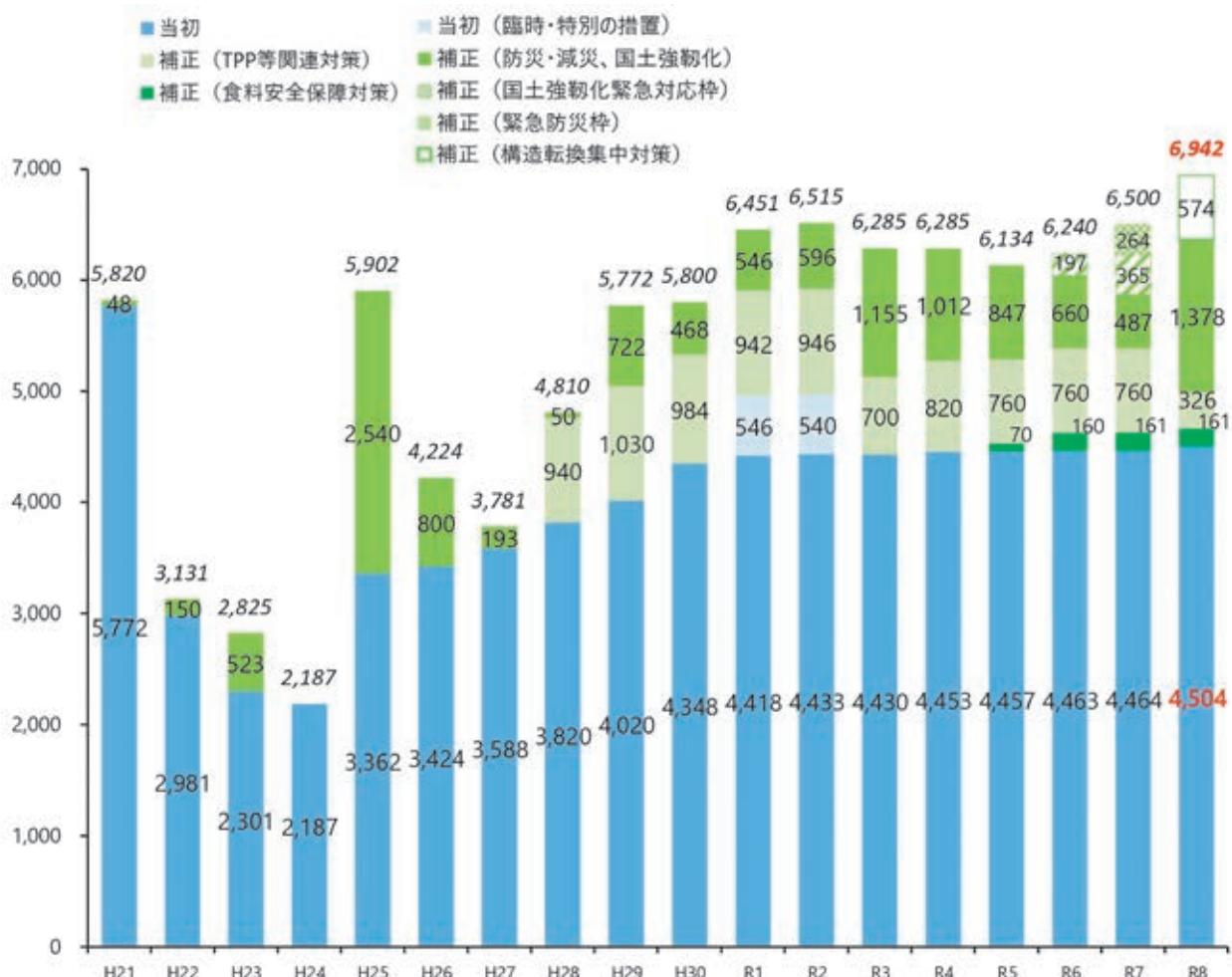


全国水土里ネット
市村常務理事

県からのお知らせ

令和8年度農業農村整備事業関係予算が概算決定されました

農業農村整備事業関係予算の推移



※ 計数は四捨五入のため、端数においては合計と一致しないものがある。

令和8年度当初予算4,504億円と、令和7年度補正予算（防災・減災、国土強靭化対策、TPP等関連対策、食料安全保障対策及び構造転換集中対策）を合わせた、令和8年度の実行予算は6,942億円（対前年比106.8%）の予定です。

『地域の要望を踏まえながら、計画的に事業を進めてまいります。』

土地改良区における女性理事登用の推進について

今年度（2025年度）は女性理事ゼロの土地改良区をゼロ、土地改良区（土地改良区連合含む）の理事に占める女性の割合が10%以上とする成果目標の目標年度です。少しずつではありますが、確実に増え続けています。期限まで残り僅かではありますが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

土地改良団体（土地改良区、土地改良区連合）の理事に占める女性の割合

全 国	
計画策定時（平成28年度）の数値	0.6%
令和5年3月31日時点【農林水産省調べ】	0.8%
令和6年3月31日時点【農林水産省調べ】	1.4%
令和6年4月1日時点【全土連調べ】	1.5%
令和6年10月1日時点【全土連調べ】	1.9%
令和7年10月1日時点【全土連調べ】	3.3%
山 口 県	
令和7年10月1日時点【全土連調べ】	3.6%

土地改良団体（土地改良区、土地改良区連合）の女性理事登用のある団体の割合

全 国	
令和7年10月1日時点【全土連調べ】	26.3%
山 口 県	
令和7年10月1日時点【全土連調べ】	22.6%

土地改良区女性理事登用事例

【令和5年度調査】女性理事登用事例集

○下関市豊田町土地改良区

河本理事

実家で両親は酪農と農業を営んでおり、長女として小さいころからお手伝いをしていました。農学への興味があることから農業大学校で学び、現在も、夫・子どもと共に営農に励んでいます。

○下関市吉田土地改良区

藤村理事

夫と水稻、ナス等の野菜を栽培し、団体営ほ場整備事業の推進に積極的に取り組みましたが、現在は農地を法人に預けて、農産物加工所「里山工房よっちゃん」の代表として頑張っています。地区のほ場整備3期対策にも協力して取り組みます。

全国土地改良事業団体連合会のホームページには、上記の事例以外にも女性理事登用を検討されている土地改良区の方々に参考になるような全国の事例が多数紹介されています。ぜひご覧ください。

【令和6年度調査】女性理事登用事例集

○山口市阿知須土地改良区

哥川理事

ほ場整備事業の完了後、水路の維持管理等を土地改良区が担っていることを知り、私も土地改良区の一員として、意見を述べたいと思います。

栗谷理事

ポンプの修理のことをよく耳にしていたので、土地改良区がその管理をしている事を知り興味を持ち、今後意見を述べたいと思います。



▲
全土連男女共同
参画HP



▲
R5 女性理事
登用事例集



▲
R6 女性理事
登用事例集



▲
女性理事登用の
その後

いざ、スタート。
2025年度に向けて—



今、はじめる。まずはあなたから—

この町のみんなが
参加できる土地改良へ

女性理事登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を10%以上に！

現在
0.6%

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画：第5次男女共同参画基本計画(2020.3.2),
土地改良期計画(2021.3)

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないでしょうか。



女性職員登用

働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。

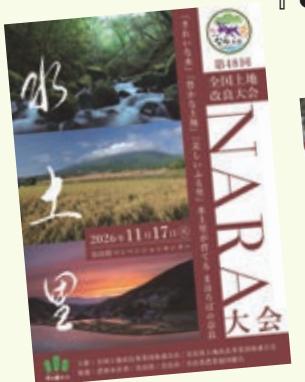


全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

お知らせ

令和8年11月17日（火）に開催を予定されている「第48回全国土地改良大会 奈良大会」について、大会テーマが決定されました。

『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』 水土里が育てる まほろばの奈良



詳細はこちらから↓



水土里ネット山口の概要

■ 会員数

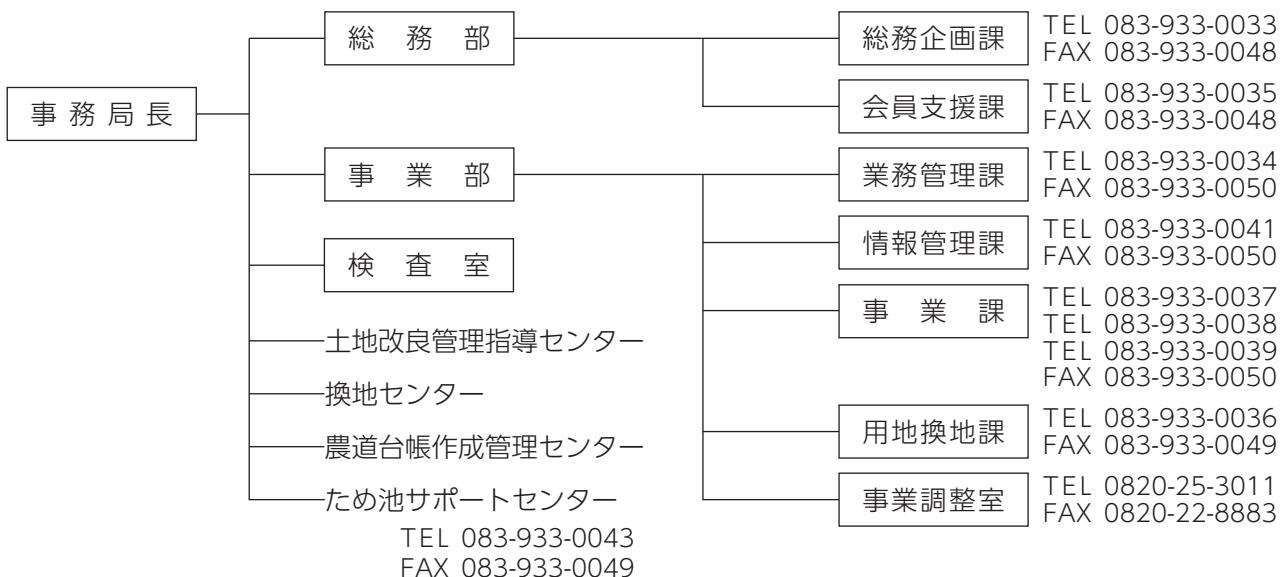
会員の資格

本会の会員たる資格を有する者は、山口県内において土地改良事業を行うものとされています。
(定款第8条)

会員総数	
市町	19
土地改良区	93
農業協同組合	1
計	113

(令和8年1月1日現在)

■ 事務局組織図（各課TEL・FAX番号）



水土里ネット山口
山口県 土地改良 事業団体連合会



本部 〒753-0079 山口市糸米二丁目13番35号
TEL 083-933-0033 (代表)
FAX 083-933-0048

HP <https://www.yamadoren.or.jp>



◇ “水土里ネット山口”は、山口県土地改良事業団体連合会の愛称です。◇